



平成 26 年 11 月 6 日

各 位

上場会社名 三井海洋開発株式会社
代表者 代表取締役社長 宮崎 俊郎
(コード番号 6269)
問合せ先責任者 執行役員 経営企画部長 高野 育浩
(TEL 03-5290-1200)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向、及び保有する資産について以下のとおり処理する方針を決定したことにより、平成 26 年 2 月 14 日に公表し平成 26 年 8 月 8 日に修正した平成 26 年 12 月期通期(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 26 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	300,000	8,000	13,000	6,500	121.88
今回修正予想(B)	300,000	5,000	13,000	5,000	93.76
増 減 額(B-A)	—	△3,000	—	△1,500	
増 減 率(%)	—	△37.5	—	△23.1	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 12 月期)	254,401	3,704	15,820	4,922	106.07

修正の理由

1. 業績予想の修正

浮体式石油生産貯蔵積出設備(FPSO)の建造工事を順調に遂行した一方、第 3 四半期にはブラジル向けのチャーターサービス事業においてガス冷却用の熱交換器やコンプレッサの故障といった想定外のトラブルに見舞われ、それらの対処費用として約 30 億円の追加費用が生じたことなどにより、営業利益の予想を下方修正することといたしました。

当期純利益につきましては、次項の通り浮体式潮流・風力ハイブリッド発電システム skwid(スクイッド)に関わる特別損失の計上が見込まれることに加え、FPSO の建造工事の進捗が高かったことにより建造工事を行う海外子会社での法人税等の支払い増加が見込まれる一方、ブラジルのオペレーション子会社では損失が発生していることを勘案し、予想を下方修正することといたしました。

なお、第 3 四半期では多額の未実現利益の消去を計上する見込みですが、第 4 四半期には FPSO のチャーターが開始されることに伴い、建造中に消去した未実現利益の実現を見込んでおります。

また、想定為替レートに関しては、為替市場の動向を考慮し 105 円/ドルに見直すことといたしました。

2. 特別損失の計上

浮体式潮流・風力ハイブリッド発電システム skwid(スクイッド)につきましては、現時点では電力の買取価格の見通しが不透明であることなどにより、将来キャッシュフローを保守的に算出した結果、帳簿価額を下回るため、「固定資産の減損に係る会計基準」に従って第 3 四半期累計会計期間において約 6 億円の減損損失を計上することといたしました。なお、通期では

約 10 億円の減損損失を見込んでおります。

(注)上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上